

ひろがれ！  
みらいの  
農ホ水

登米町森林組合  
(宮城県 登米市)  
FSC® C132109

# 生まれた木が、 見える木材。

「森が末永く続くために、安全・安心な取引をするのが私たちの責任」。そう語るのは、登米町森林組合の芳賀組合長。違法伐採された安い木材が流通し、日本の林業経営や森林環境への悪影響が深刻となっている。

そんな中、登米市は環境と地域社会に配慮した森林経営を証明する国際的な非営利団体 FSC® の「FIM認証」を取得した。「わが組合は、認証材の適正な加工・流通を消費者に保証する『COC認証』も取得しました。『生産から流通まで見える化しよう』という考えです。」  
さらに、ICT技術による「統合システム」の構築を計画中です。木材の産地や伐採日などのトレーサビリティ情報を、山での作業履歴と森林GISのデータを統合することで、人為的ミスを防ぎ、適正に自動生成するしくみだ。「これからの時代、信頼できる情報の提供が、地域材のブランド化にもつながると信じています。」  
森の未来を変える挑戦が、宮城県で一番小さな森林組合\*で始まっていた。

\*組合員所有森林面積

農林水産業みらい基金は、助成金を通じて、登米町森林組合のICTを活用したシステム構築と、原発事故の影響からの脱却を目指す広葉樹材林の更新事業をサポートしています。



一般社団法人  
農林水産業みらい基金

未来は、いつだって、現場から生まれる。私たち農林水産業みらい基金は、JA(農業協同組合)・JF(漁業協同組合)・JForest(森林組合)グループの一員である農林中央金庫によって設立されました。

詳しくは [農林水産業みらい基金](http://www.miraikikin.org/) 検索  
<http://www.miraikikin.org/>

